



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 149 号

R6.2.22

文責 中西 勉



1年生が頼もしく見えた「幼保小交流会」

20日(火)に、1年生が幼稚園や保育園の年長児とふれ合う「幼保小交流会」を行いました。来校した園児の多くは、4月に本校に入学します。そこで、一足早く男川小での学校生活の楽しさを感じてもらおうと、1年生がお兄さん・お姉さんらしさを発揮して頑張りました。



▲歓迎の言葉を述べる代表児童(左)と進行役を務めた子供たち

歓迎の言葉に続き、体育館で全員が「じゃんけん列車」を楽しみました。その後、教室で「おもちゃ作り」をし、それを使って楽しい時間を共有しました。園児たちを笑顔いっぱいにした1年生の子供たちが頼もしく見え、学芸会に引き続き、1年間の確かな成長を感じました。



▲体育館での「じゃんけん列車」(左)と教室での「おもちゃ作り」



全校で「ありがとう」の気持ちを伝えた「感謝の会」

昨日、新型コロナが5類に移行して以降、初めて全校児童が体育館に集い、今年度お世話になった方々への「感謝の会」を開きました。交通指導員さん、防犯パトロール隊の皆さん、読み聞かせボランティアのもこもこさん、令和5年度PTA役員さんのそれぞれの代表者に、代表児童が感謝の言葉を述べ、花と手紙を贈りました。そして、会の最後には、全校児童が校歌を3番まで元気に斉唱し、「ありがとう」の気持ちを伝えました。子供たちの思いは代表の方にしっかりと届いたようで、お一人お一人から温かいお言葉をいただき、嬉しく思いました。今後も男川っ子へのご支援をいただけると幸いです。



▲代表児童による感謝の言葉



▲花と手紙の贈呈



▲全校児童による校歌斉唱